



実践女子大学  
実践女子大学短期大学部

くらすクラス



2017年7月13日  
実践女子大学  
一般社団法人いなぎくらすクラス  
東日本旅客鉄道株式会社八王子支社

## 実践女子大学、いなぎくらすクラス、JR東日本八王子支社は 南武線沿線と多摩地域の活性化に向けて協働で取り組みます

実践女子大学（学長：城島 栄一郎）、一般社団法人いなぎくらすクラス（代表：鈴木 萌）、JR東日本八王子支社（執行役員八王子支社長：坂本 浩行）は、JR南武線矢野口～南多摩駅間を中心とした沿線を地域の皆さまとともに活性化するプロジェクト「くらすクラス」の取り組みを通じて連携し、南武線沿線と多摩地域の活性化を目指します。

### 1. 連携の目的

実践女子大学の学生・教職員が、講座（クラス）やイベント等の企画・開催、みんなの居場所・表現の場である「くらす広場」づくり等、くらすクラスの運営に主体的に参加し、実践的な教育、活動発表の場とすることにより、以下2点を目的として連携します。

- ・くらすクラスの活動をより魅力的なものとし、JR南武線沿線と多摩地域の活性化に資すること
- ・将来の地域活性化に寄与しうる人材育成に資すること

### 2. 期間

2017年7月13日より2018年3月31日まで。

### 3. その他

第1回目の連携として、8月5日（土）にJR南武線稲城長沼駅高架下「くらす広場」にて開催予定の「くらす市～夏のワークショップまつり～」の運営に、実践女子大学の学生・教職員が参加し、地域活動を行う予定です。



## 「くらす市～夏のワークショップまつり～」について

夏休みにぴったりのワークショップが高架下に大集合し、おとなも子どもも1日楽しめる企画です。

日時：2017年8月5日（土）10時～16時

場所：JR南武線稲城長沼駅高架下「くらす広場」

内容：① 気軽にご参加いただけるワークショップ（当日受付）

- ウニランプづくり…本物のウニの殻を使ったミニランプを作ります。
- フォトフレームづくり…木端をつかったオリジナルフォトフレームを作ります。
- 布にお絵かき…布製品を持ち寄り、お絵かきして愛着のわくものに仕上げます。
- 消しゴムハンコづくり…ハートや乗り物などの消しゴム型に名前を彫って仕上げます。
- ハーブ石けんづくり…くらすガーデンで育てたハーブを使ってハーブ石けんを作ります。
- 手づくりスーパーボール…オリジナルのスーパーボールを作ります。
- 草玩具づくり…身近な植物で、バッタや馬をつくり、里山ならではの遊びを体験します。
- ハンモックづくり…いろんなサイズのハンモックを編みます。
- ろくろ体験…気軽にろくろ回しを体験できます。ご希望の場合は焼成も。



② じっくり学べる2つのクラス（原則事前申し込み制）

- 「大工さんとマガジンラックをつくろう！」（高架下リビング化計画 vol.2）

多摩地域に根差した、稲城の老舗工務店の大工さんによるレクチャーで、マガジンラックをつくるクラスです。保護者同伴で幼稚園生以上から参加できます。



- 「はじめての革しごと～ミニバッグづくり～」

ものを大切に、長く使うことのきっかけにしてほしいという思いを込め、上質な革を使い、スマートフォンが入るサイズのミニバッグを仕立てます。ストラップにイニシャルの刻印も。



③ 子育てサポーターによる手遊びのステージ（時間未定）

※ワークショップの参加料等の詳細情報や、クラスのお申し込みは、くらすクラスのホームページからどうぞ（<https://kurasu-class.me/>）。クラスのお申し込みは、7月15日頃から受付開始いたします。

※当資料中の画像は全てイメージです。実際のものとは異なる可能性がありますのでご了承ください。また、イベント内容等は変更になる可能性があります。

## くらすクラスの概要

くらすクラスは、JR南武線沿線の魅力をより一層広く発信するために、JR東日本が稲城の地域の皆さまと連携してつくってきたプロジェクトです。

2016年4月に開校し、JR南武線矢野口駅-南多摩駅間の高架下を中心に、稲城市全体をフィールドとして、誰もが参加できる稲城ならではの学びを「クラス（講座）」として展開しています。また、運営主体となる一般社団法人いなぎくらすクラスでは、クラスのほかに、みんなの居場所・表現の場となるJR 稲城長沼駅高架下広場「くらす広場」の運営、くらす市（マルシェ）の企画・運営、くらす広場で稲城の素材をたっぷり使ったサンドイッチやドリンクなどを提供する“Kura-stand”の運営などを行っています。

JR東日本と一般社団法人いなぎくらすクラスは、これらの活動を通じて、新たなコミュニティづくりのサポートを行い、自然、農産物、稲城での暮らしなど、地域独自の魅力発信と、これらの地域資源をいかした文化の醸成を目指しています。

〔活動風景（一例）〕



▲「くらす広場」は日常的に、遊具で遊ぶ子どもたちでにぎわう



▲おとなも子どもも楽しめるクラス（講座）を開催。写真はろくろを回すクラス



▲季節毎にテーマを設け、くらす市（マルシェ）を開催



▲テイクアウト型のサンドイッチ店（kura-stand）を併設